

六 教材文それぞれの課題を解いてみよう！

〈二年生〉

☆「竹取物語 蓬萊の玉の枝」

問 1 P149 L13 ~ P150 L8 の文章はくらもちの皇子がかぐや姫についての嘘の物語です。しかし、かぐや姫はその話を本物だと信じてしまいました。なぜかぐや姫はたまされたのでしょうか。文章表現をもとに、あなたの考えを書いてみましょう。

問 2 P154 の文章には、「富士山」がなぜ「ふじ山」と呼ばれているかの理由が二つ書かれています。その二つの理由を簡単に説明しましょう。

理由 1

理由 2

☆「故事成語 矛盾」

問 3 P159 の文章の中で、盾と矛を売っている楚の国の商人はある人に「あなたの矛で、あなたの盾を突き通すとどうなるか？」と聞かれましたが、答えられませんでした。なぜ答えられなかったのでしょうか。あなたの考えを書いてみましょう。

課題を解いたうえで、各教材文を音読しましょう。

六 教材文それぞれの課題を解いてみよう！

〈二年生〉

☆「平家物語 扇の的」

問 1 P134 L15 ～ P135 L13 の文章には、平家方の「扇を射てみる」という誘いに挑む那須与一の姿が描かれています。与一のセリフをもとに、彼の今の心境を想像してみましょう。

--

問 2 P136 L1 ～ P136 L12 の文章には、与一が扇の的を見事に射た場面が美しく描かれています。特に美しいと思う表現を抜き出し、その場面を選んだ理由を書きましょう。

場面

理由

--	--

問 3 P136 L13 ～ P137 L13 の文章には、与一の弓の腕前を褒めるために舞を舞った平家の武将と、それを射倒した源氏の那須与一が描かれています。この場面を見て、あなたはどのように思いますか。「平家」と「源氏」を比較しながら書きましょう。

--

問 4 P138 L7 ~ P138 L12 の文章で、なぜ義経は命の危険を冒してまで自分の弓を拾おうと思ったのでしょうか。義経のセリフをもとに考えて書きましょつ。

☆「徒然草 第五十二段」

問 5 徒然草の第五十二段は、ある人の失敗談が描かれています。「誰」の「どんな」失敗でしょうか。分かりやすく説明しましょつ。

問 6 この話から、作者の兼好法師は「ちょっとしたことでも、それについて詳しく知っている人が近くにいるほしいものだ。」ということを考えました。
あなたのそんな経験を紹介してください。

課題を解いたうえで、各教材文を音読しましょつ。

六 教材文それぞれの課題を解いてみよう！

〈三年生〉

☆「古今和歌集 仮名序」

問 1 P134 の文章には、「歌」について書かれています。「歌」とはどのようなものが、どんな力があるのかを。箇条書きで書きましょう。

--

問 2 P139 ～ P141 には「万葉集」の歌が載っています。「万葉集」には“素朴で力強い”歌が多いという特徴があります。あなたはどの歌からその特徴を感じましたか。一首選び、それを選んだ理由を書きましょう。

和歌

理由

問 3 P142 には「古今和歌集」の歌が載っています。「古今和歌集」には“繊細で優美な”歌が多いという特徴があります。あなたはどの歌からその特徴を感じましたか。一首選び、それを選んだ理由を書きましょう。

和歌

理由

問 4 P143 ～ P144 には「新古今和歌集」の歌が載っています。「新古今和歌集」には“絵画的で色彩的な”歌が多いという特徴があります。あなたはどの歌からその特徴を感じましたか。一首選び、それを選んだ理由を書きましょう。

和歌

理由

☆「おくのほそ道」

問 5 P139 5 P141 の「おくのほそ道 冒頭」を読んで、後の問いに答えましょう。

I 作者の松尾芭蕉にとって、“旅”とはどのようなものなのでしょう。簡潔に書きましょう。

II 再び旅に出ようと決心した芭蕉がした旅支度を五つ文章中から抜き出しましょう。

問 6 P150 5 P151 は平泉のことを書いた文章です。これを読んで、後の問いに答えましょう。

I P151 L9 P151 で「涙を落としはぐりぬ」とありますが、芭蕉はなぜ泣いたのでしょうか。簡潔に説明してください。

II P151 L3 には、“光堂 中尊寺金色堂”はどのような状態であったと書かれていますか。簡潔に説明してください。

課題を解いたうえで、各教材文を音読しましょう。

六 教材文それぞれの課題を解いてみよう！

〈一年生〉

☆「竹取物語 蓬莱の玉の枝」

問 1 P149 L13 ～ P150 L8 の文章はくらもちの皇子がかぐや姫についた嘘の物語です。しかし、かぐや姫はその話を本物だと信じてしまいました。なぜかぐや姫はだまされたのでしょうか。文章表現をもとに、あなたの考えを書いてみましょう。

(例)

- ・「さすがに恐ろしくおぼえて」や「うれしき」とかぎりなし」など、自分のその時の気持ちを伝えているから。
- ・「天人のよそほひしたる」「金・銀・瑠璃色の水」「色々の玉の橋」「照り輝く木」といった風景を具体的に表しているから。
- ・「この持ってきた枝は、周りのものとは比べたら見劣りするものだけれど、(姫が)おっしゃったものと違つてはいけないからこの枝を持ってきた。」という部分が、いかにも本物っぽく思わせるから。

問 2 P154 の文章には、「富士山」がなぜ「ふじ山」と呼ばれているかの理由が二つ書かれています。その二つの理由を簡単に説明しましょう。

理由 1 士（兵士）をたくさん連れて登った。士に富む（＝たくさんいる）山だから。

理由 2 不老不死の薬を焼いた山。「不死の山」だから。

☆「故事成語 矛盾」

問 3 P159 の文章の中で、盾と矛を売っている楚の国の商人はある人に「あなたの矛で、あなたの盾を突き通すとどうなるか？」と聞かれましたが、答えられませんでした。なぜ答えられなかったのでしょうか。あなたの考えを書いてみましょう。

(例)

もし矛が盾を突き通せば、盾が嘘になり、突き通さなかったら矛が嘘になる。どちらも壊れれば、どちらも嘘になる。つまり何をしても自分が言ったことが嘘になってしまうから。

課題を解いたうえで、各教材文を音読しましょう。

六 教材文それぞれの課題を解いてみよう！

〈二年生〉

☆「平家物語 扇の的」

問 1 P134 L15 ～ P135 L13 の文章には、平家方の「扇を射てみる」という誘いに挑む那須与一の姿が描かれています。与一のセリフをもとに、彼の今の心境を想像してみましょう。

(例)

もし失敗してしまったら、源氏の名誉が失われてしまうから、自分の命を懸けて挑もうという真剣な気持ち。

問 2 P136 L1 ～ P136 L12 の文章には、与一が扇の的を見事に射た場面が美しく描かれています。特に美しいと思う表現を抜き出し、その場面を選んだ理由を書きましょう。

場面

(例) 夕日のかかやいたるに、みな紅の扇の日出したるが、白波の上に漂ひ

理由

(例) オレンジ、赤、白といった華やかな色彩が、夕日を浴びてキラキラ輝いている情景が目についたから。

問 3 P136 L13 ～ P137 L13 の文章には、与一の弓の腕前を褒めるために舞を舞った平家の武将と、それを射倒した源氏の那須与一が描かれています。この場面を見て、あなたはどう思いますか。「平家」と「源氏」を比較しながら書きましょう。

(例) 平家は合戦の合間に余興を入れるなど、趣のある様子だが、源氏はおくまでも武士として、命を懸けて合戦の場に臨んでいる。

問 4 P138 L7、P138 L12 の文章で、なぜ義経は命の危険を冒してまで自分の弓を拾おうと思ったのでしょうか。義経のセリフをもとに考えて書きましよう。

(例) 自分の弓が弱いものと知られると、笑いものにされる。義経は、命よりも名誉の方を重んじていたから。

☆「徒然草 第五十二段」

問 5 徒然草の第五十二段は、ある人の失敗談が描かれています。「誰」の「どんな」失敗でしょうか。分かりやすく説明ましよう。

(例) 仁和寺の法師が、長年行きたかった石清水八幡宮に参拝に行ったのだが、山のふもとにある極楽寺と高良神社だけを拝み、それが石清水だと思い込んだ結果、山頂にある本当の石清水八幡宮に参拝できなかったという失敗。

問 6 この話から、作者の兼好法師は「ちょっとしたことでも、それについて詳しく知っている人が近くにいるほしいものだ。」ということを考えました。あなたのそんな経験を紹介してください。

課題を解いたうえで、各教材文を音読ましよう。

六 教材文それぞれの課題を解いてみよう！

〈三年生〉

☆「古今和歌集 仮名序」

問 1 P134 の文章には、「歌」について書かれています。「歌」とはどのようなものか、どんな力があるのかを。箇条書きで書きましょう。

(例) 歌とは自分のいろいろな出来事に出会ったときに心にわいてきた感情が自然に出てきたものであり、だれもが歌ってしまうものである。

歌は神様の心を動かし、鬼をも感動させ、男女の仲を親しいものとし、勇猛な武人の心をも優しくさせるものである。

問 2 P139 ～ P141 には「万葉集」の歌が載っています。「万葉集」には”素朴で力強い”歌が多いという特徴があります。あなたはどの歌からその特徴を感じましたか。一首選び、それを選んだ理由を書きましょう。

和歌

(例) 東の野に炎の立つ見えてかへり見すれば月傾きぬ

理由

(例) 沈む月と昇る朝日を同時に見渡しながら、広い草原で朝を迎えた様子が、美しく壮大に感じたから。

問 3 P142 には「古今和歌集」の歌が載っています。「古今和歌集」には”繊細で優美な”歌が多いという特徴があります。あなたはどの歌からその特徴を感じましたか。一首選び、それを選んだ理由を書きましょう。

和歌

(例) 人はいさ心も知らずふるさとを花ぞ昔の香ににほひける

理由

(例) 変わっていつてしまう人の心を、変わらない花の美しさと比べることでよりはつきりと、しかも繊細に表現しているから。

問 4 P143 ～ P144 には「新古今和歌集」の歌が載っています。「新古今和歌集」には”絵画的で色彩的な”歌が多いという特徴があります。あなたはどの歌からその特徴を感じましたか。一首選び、それを選んだ理由を書きましょう。

和歌

(例) 見わたせば花も紅葉もなかりけり浦の苫屋の秋の夕暮

理由

(例) 「花も紅葉もない」と一度言い切ってしまうことで、後半の夕焼けの様子
が一段と鮮やかに浮かび上がってきたから。

☆「おくのほそ道」

問 5 P139 ~ P141 の「おくのほそ道 冒頭」を読んで、後の問いに答えましょう。

I 作者の松尾芭蕉にとって、“旅”とはどのようなものなのでしょうか。簡潔に書き
ましょう。

(例) 旅とは、いつもいつも行きたいと心に浮かんで来て止めることができない
もの。

II 再び旅に出ようと決心した芭蕉がした旅支度を五つ文章中から抜き出しましょう。

股引の破れをつづり 笠の緒付けかへて 三里に灸すゆる
住めるかたは人に譲り 面八句を庵の柱に懸け置く

問 6 P150 ~ P151 は平泉のことを書いた文章です。これを読んで、後の問いに答えましょう。

I P151 L9 P151 で「涙を落としはべりぬ」とありますが、芭蕉はなぜ泣いたのでしょうか。簡
潔に説明してください。

(例) この平泉で、英雄であった源義経が戦いに敗れ散っていったことを想像し
たから。

II P151 L3 には、“光堂 中尊寺金色堂”はどのような状態であったと書かれています
か。簡潔に説明してください。

(例) 本来なら風や雨に打たれて他の場所と同じように草むらとなってしまうは
ずなのだが、壁と屋根に守られて千年前と同じ姿を見ることが出来る状態。

課題を解いたうえで、各教材文を音読しましょう。